

UCI 野辺山シクロクロス DAY 1 DAY 2 レースレポート
UCI Shinshu cyclocross Nobeyama Kogen round 1,round2

パナソニックレディース 豊岡英子



(DAY 1)

日時 2013年11月16日

天候 晴れ

場所 長野県野辺山

結果 **優勝**

日本で開催される UCI レースの 1 つである野辺山ラウンド。

今年は 2 日連続で行われた。

コースは昨年とは少し異なり、芝の上りがなくなっていた。

その代わりに、観客の集まるスタートゴール付近に、芝のコーナーセクションが増えていた。

芝のスタート、立体交差、オンロード上り、泥区間バギーセクション、シケイン、芝のコーナー、というテクニカルでは無いが、踏み踏みのコースレイアウト。



女子のスタートは13:32。

スタートから暴走するのみ。

後続とは、タイム差が少し開いたので、そのまま踏む。

走りながら最速に走れるルートを見極め走る。

2周目のゴールラインで、周回数は、後3周と示していた。

とにかくミスを避け、丁寧に走る事を心掛けた。

「タイムギャップ20秒」と聞こえたので、その差を詰められることなく走る。

最終周回に入り、頭がとても痛くなってきて、ボーンとした酸欠状態になってくるのを感じた。

ハンドル操作も、徐々に、制御するのが困難になってきた。

しかし、ゴールまでは何とかしなければ、と必死に冷静に、と心で唱える。

1番でホームストレートに戻ることができた。

レース後は、表彰式、ドーピングコントロールと慌ただしかったが、次の日のためにダウンをしっかり行った。

(DAY2)

日時 2013年11月17日

天候 晴れ

場所 長野県野辺山

結果 **優勝**



昨日に引き続き、少し泥区間を減らしてのコースレイアウト。

昨日は、恐らく野辺山が高地のため、軽い高山病だったのかレース後ずっと頭が痛かったが、朝起きると治っていた。

私は朝7時からテレビ撮影のため、会場入り。

1回目の撮影が終わると、チームメイトの楓華が、立体交差の下りが下れないと言うので、練習に付き添う。

下れるようになった。

そして、9時からまたもやテレビ撮影。



レースが始まったのは13:22。

スタートから猛ダッシュ。

立体交差を越えた辺りから、後続が少し離れたのが解った。

そこから1人旅になる。

2周回目にゴールラインの所で、あと4周回と看板が出ていた。

昨日よりも1周増えていた。

調子が徐々に良くなってきて、昨日よりも走れると感じた。

ラスト2周で、さらに踏めるのを感じた矢先、オーバースピードでコーナー出口先の石に激突し落車してしまった。

チェーンが外れたのを即座に直し、走り出す。

左側全体を強く打ったみたいだ。

タイヤがパンクしていなかったのが救いである。

そこから、調子にのったらダメだなと思い直し、丁寧に走った。

昨日に引き続き1番でゴールラインを通過することができた。

とても嬉しかった。

応援ありがとうございました。

使用機材

自転車	パナソニック
ヘルメット	OGK KABUTO
ステム	dixna
ハンドル	onebyesu
フォーク	onebyesu
バーテープ	dixna
サングラス	adidas eye wear
ウェア	パールイズミ
タイヤ	challenge
サドル	fi' zi:k
シューズ	fi' zi:k
遠征バック	deuter
チェーンオイル	Holmenkol

チェーン：ルーベエクストリーム、ダートプロテクター、スポーツクリーン

スプロケット：ダートプロテクター、ライニガー

フレーム：スポーツポリッシュ、アクアスピード、ダートプロテクター

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ、テキスタイルウォッシュ

サングラス：ノーフォグ

コンプレッション 2XU